

各派 代表質問

2月15日～17日の本会議において、平成29年度予算議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。

①鎌倉みらい
(前川 綾子 議員)



②公明党
鎌倉市議会議員団
(納所 輝次 議員)



③鎌倉
夢プロジェクトの会
(高橋 浩司 議員)



④みんなの鎌倉
(中村 聡一郎 議員)



新年度予算に対する 各会派の評価と見解

鎌倉みらい

後期実施計画の初年度に当たる平成29年度予算

平成29年度は、第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画後期実施計画の初年度、かつ、第3期基本計画の折り返し地点として重要な年度です。鎌倉みらいでは、平成29年度予算において、重点事業や新規に計画された事業がしっかりと進められていくのかを質疑を通して確認し、一般会計予算外諸議案に賛成しました。

⑤神奈川ネットワーク
運動・鎌倉
(三宅 真里 議員)



⑥公正と法
(上島 寛弘 議員)



⑦日本共産党
鎌倉市議会議員団
(吉岡 和江 議員)



(代表質問順)

公明党

市民に寄り添う市政運営を

公明党鎌倉市議会議員団は平成29年度一般会計予算の修正案外諸議案に賛成しました。

●市政運営について

高齢化が進む中で、市民生活の維持向上、若年層の定住促進、産業振興や観光振興など将来に向けて多くの課題があります。平成29年度予算の審査で、これからは自治体にある行政の在り方では立ち行かないことを強く意識し、鎌倉の未来を確かなものにするための行政経営を進めるべきであることを指摘しました。

●高齢者福祉政策について

成年後見制度事業では、成年後見申し立て費用の一部助成制度の周知と助成費用の上限額の再検討を指摘しました。また開所した腰越地域老人福祉センターについて交通の利便性を図るよう指摘しました。

●広聴活動について

広聴懇談会では、障がいがある市民との懇談会も行うべきことを指摘しました。

●環境政策について

ごみの新焼却施設整備については、市長が地元住民の声を直接聴く機会を増やすべきであると指摘しました。

●健康政策について

不妊・不育症治療費用の助成、小児医療費助成を中学3年生まで拡大、前立腺がん検診の開始、休日急患歯科診療所を在宅福祉サービスセンター内移設と障がい者歯科診療の実施などへの取り組みを評価しました。

●子育て支援について

保育園の待機児童対策の解消に向け、由比ガ浜に建設中の保育園複合施設整備や旧法務局鎌倉出張所への保育施設整備が待たれます。子どもの家について、本年10月には今泉小学校内に、翌年度以降深沢小学校、関谷小学校各敷地内への整備を目指しており、小学校全16校での放課後子ども総合プラン実施に連動するものとして評価しました。鎌倉地域で病児保育が実施される一方、発達支援室の対象児童が増加傾向にあることから支援室の在り方を再構築すべきであるとしてしました。

●職員数適正化計画について

第4次職員数適正化計画の実施について、減員ありきではなく、消防本部などの増員も排除せず、市民生活を支える体制を整えるための計画を進めるよう指摘しました。

●コンプライアンスについて

相次いだ不祥事の反省に立ち、全ての職員が法令順守の意識を強く持ち、意欲にあふれ、市民に寄り添う市役所の構築を求めました。

鎌倉夢会

松尾行革市政のさらなる発展を！

松尾市政2期8年の集大成となる平成29年度予算に対し、公約がどこまで達成できたのかという観点で検証を行いましたので、松尾市長の掲げた四つの項目ごとに評価と見解を述べます。

●行財政改革を大いに評価！

「オープンでコンパクトな市役所」の項目は主に行財政改革に関連する項目で、給与の構造改革や超過勤務手当の大幅縮減、特殊勤務手当の大幅廃止、正規職員数の削減等々、多くの成果を達成し、全体としては90%以上の達成率でした。

●子ども達の居場所確保を！

次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。しかし、保育園の待機児対策を重点的に取り組み709名の定員増を図ったもののいまだに待機児解消には至っておりません。また子どもの家でも待機児が恒常的に発生している状態が続いています。待機児解消に対する速やかな対策を求めます。

●鎌倉の歴史的使命！

最後に「市民みんなが誇りに思うまち」であります。全体としては、50%程度の達成率でした。文化財を守り、次世代に伝えることは、鎌倉市の歴史的使命であります。しかし、その整理は滞り、埋蔵文化財の出土品の整理などは、30年分以上たまっている状態です。まずは、50年分くらいの長期スパンで文化財行政全体の総合計画を策定し、計画的に進めるよう体制を構築すべきです。

●山崎の方々の心情に寄り添って！

次に「いつまでも住み続けたいまち」であります。様々な防災施策を集中的に実施した事もあり70%以上の達成率